

## YouTube講演 案内

2023年9月9日（土）東京古田会 Web 和田家文書研究会  
和田家文書の明治写本と大正写本 古賀達也（古田史学の会）

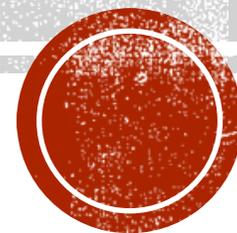
# 和田家文書の明治写本と大正写本

上をクリックすれば、YouTube 講演を閲覧できます。

<https://www.youtube.com/watch?v=GkNVF8Vn0lc>

- 2:08 『東日流外三郡誌』 北方新社版を紹介する藤本さん
- 3:05 金ヶ沢山中にある安東水軍隠し砦
- 8:00 秋田重季氏、和田長作氏など集合写真
- 10:00 長円寺の和田家墓石 和田長三郎吉次の墓
- 21:35 東日流外三郡誌明治写本
- 36:00 鐘ヶ澤海底庫洞図 鐘ヶ澤秘洞城第二図 東日流外三郡誌第十卷
- 39:05 興国二年之大津浪 十三津浪図 東日流外三郡誌 第十卷
- 44:25 山王坊明細図 東日流外三郡誌第十卷 45:35 唐川城明細図 東日流外三郡誌 第十卷
- 47:00 十三湖から見た福島城跡
- 48:17 明治写本 東日流外三郡誌
- 50:05 平成の調査 和田長作による大正写本群
- 51:30 平成の調査 『北鑑』など大正写本 令和の調査 『北鑑』の精査  
使用された大福帳は明治三十年代後半から大正三年頃のもの。
- 52:45 まとめ 和田家文書の明治写本と大正写本

和田家と文書の大正写本  
明治の写本



令和五年（2023）9月9日（土）

古賀達也（古田史学の会）

昭和61年頃放送

理髪師







藤本光幸さん取材する中尾彬さん

『東日流外三郡誌』  
北方新社版を紹介する藤本さん





金ヶ沢山中にある安東水軍隠し砦







和田家



和田家天井裏  
撮影 古賀達也



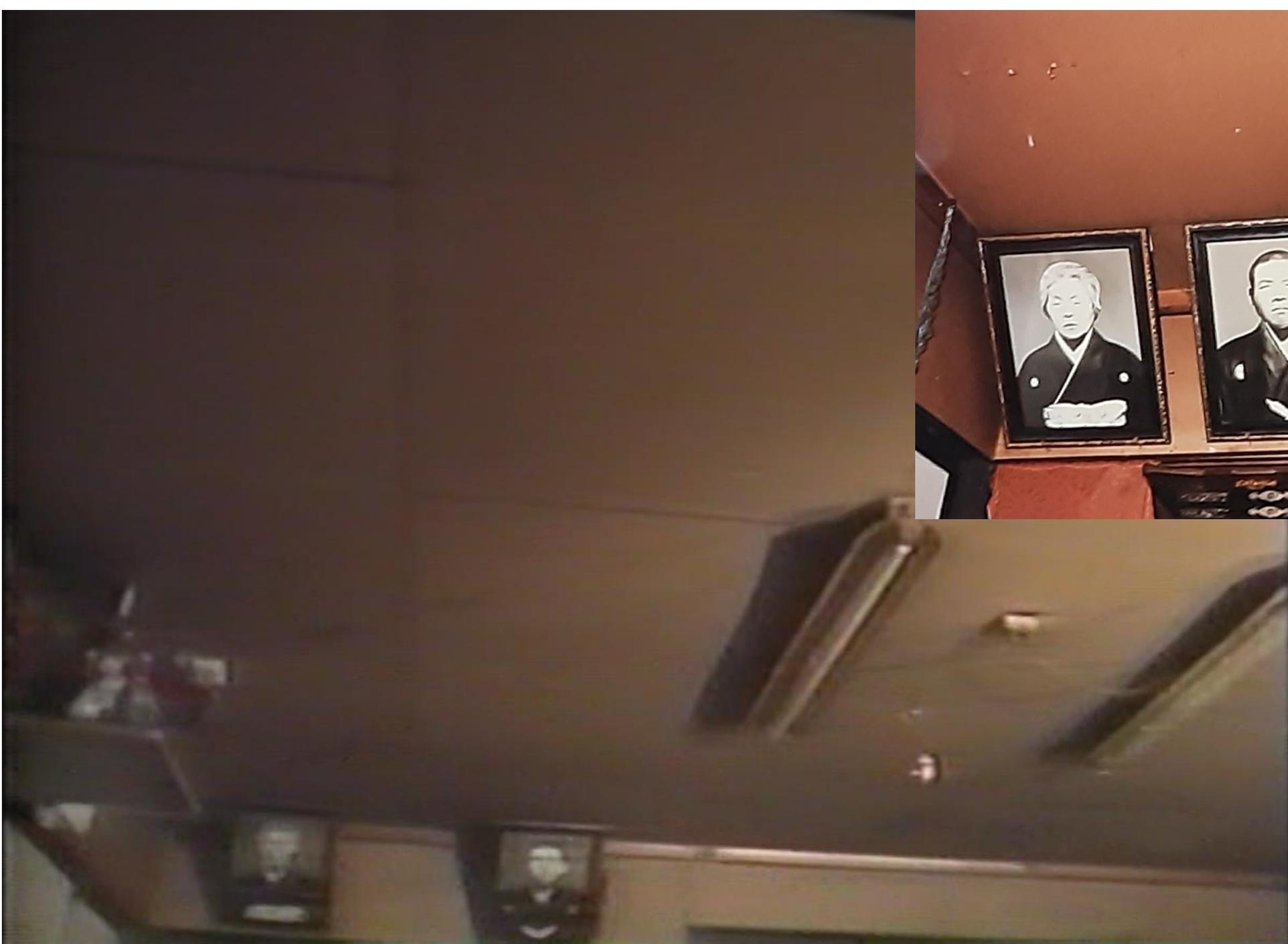


和田喜八郎





古賀が撮影



和田家、仏壇上の遺影 撮影時は二枚のみ



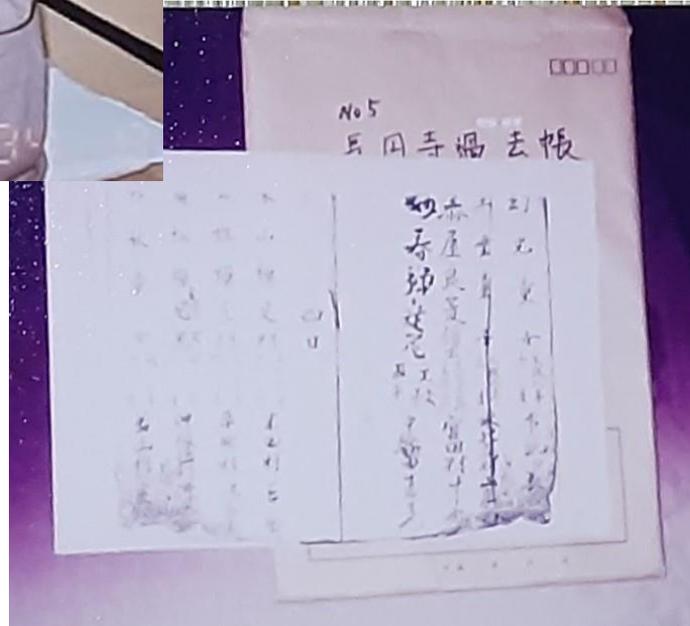
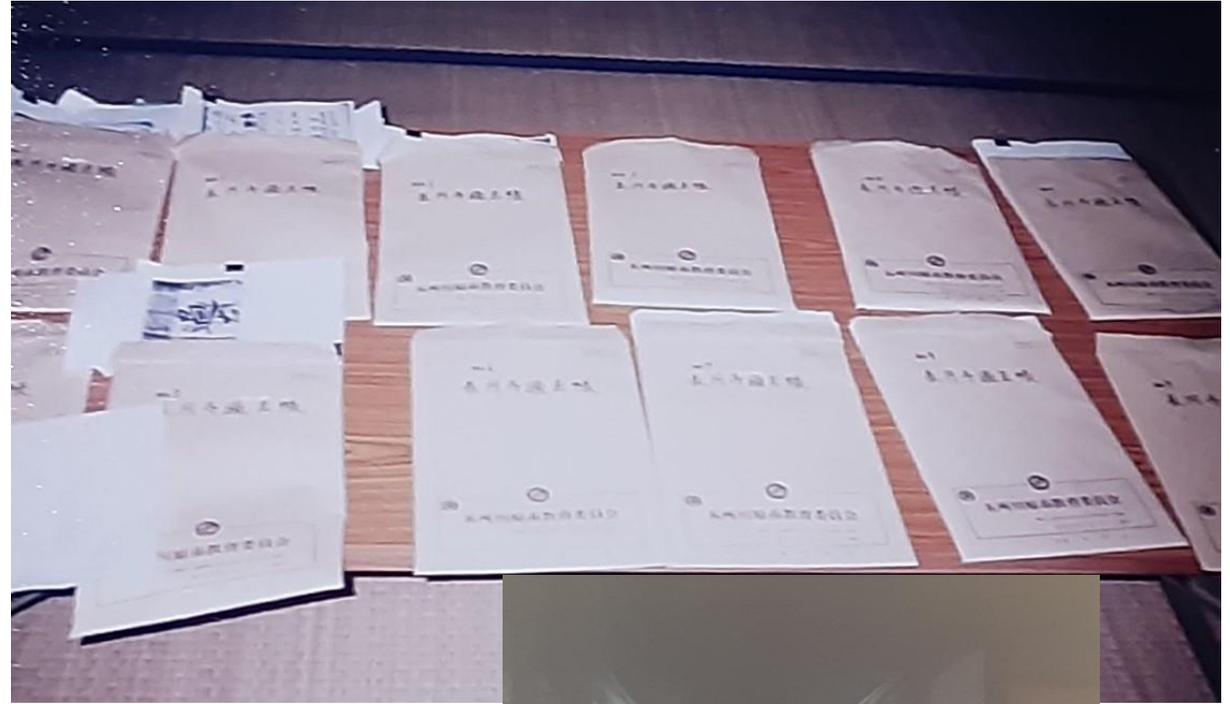
長円寺の和田家墓石

慈清妙雲信女  
智昌良恵信士  
安昌妙穩信女  
壽山清量居士

安永五申年十月（以下不明）  
文化十四年（以下不明）  
文化十四丑年（以下不明）  
（没年記載なし）

和田長三郎吉次の墓





五所川原市飯詰 長円寺  
過去帳調査 1994年9月20日  
原本は火災で焼失、五所川原市  
教育委員会のコピー版を調査。

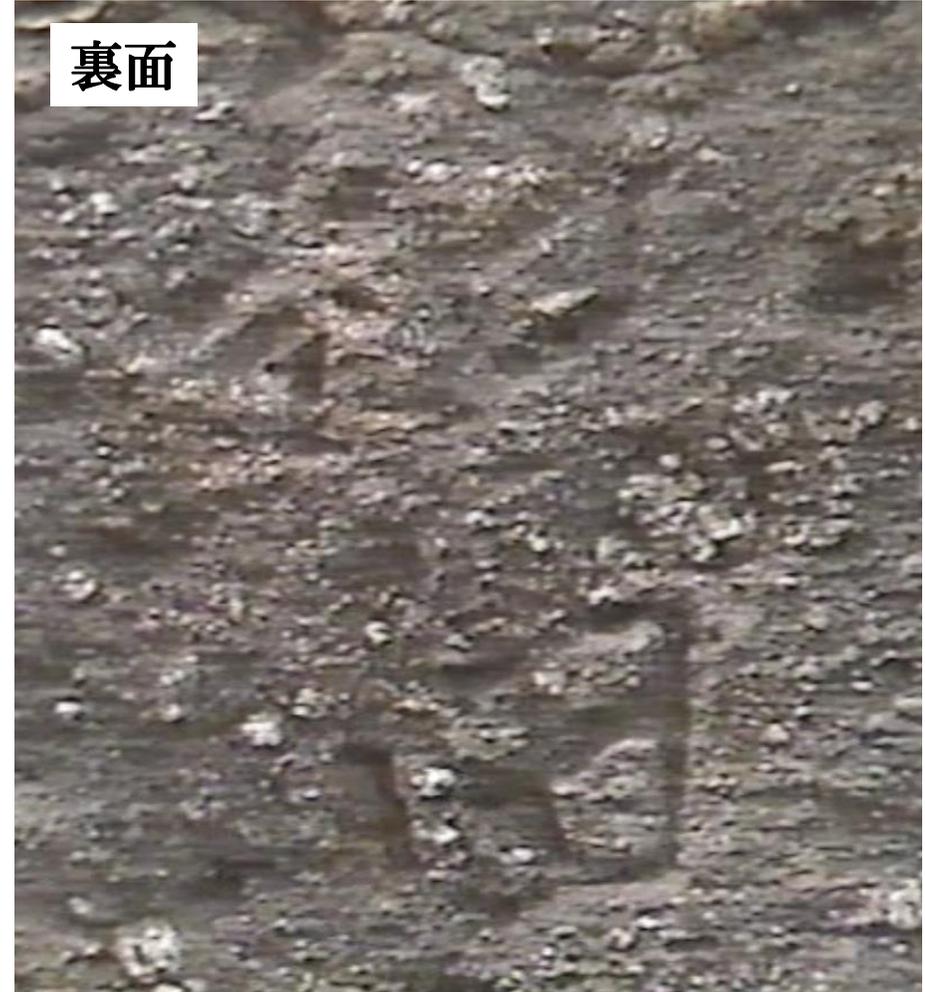


慈清妙雲信女 安永五申年十月 (1776年)  
智昌良恵信士 文化十酉年 (1813年)  
安昌妙穩信女 文化十四丑年 (1817年)  
壽山清量居士 〔和田長三郎吉次か〕

**長円寺の過去帳** (原本は火災で焼失したとのこと。五所川原市教育委員会によるコピー版によった。) に「**智昌良恵信士 文化十年十一月下派 長三郎**」「**安昌妙穩信女 同年(文化十四年)十月下派 長三郎**」とある。

「長三郎」は喪主。和田長三郎吉次(東日流外三郡誌の編者)にあたる。「下派」(しもはだち)は和田家がある場所の地名。

裏面



文政丑五月建□和田氏

(□:一字不明、「之」か)

文政十二年己丑 1829年





陽迎門

石塔山神社



大山祇神社



上空から撮影した石塔山神社







東日流外三郡誌 明治写本

明治写本

東日流外三郡誌 卷十 卷頭の注言

送言の旨

白書に著す事難  
し外不出他見也

我田孝子

第十卷

東日流外三郡誌

寛政七年十月一日

我田三郎孝子





東日流外三郡誌を読む  
和田喜八郎さんと中尾彬さん





和田喜八郎さんが山中で発見した石仏





山中の洞窟などから出土した古銭



## 出土した古銭



財宝が隠された洞窟の図





石塔山神社で歓談する  
和田さんと中尾彬さん





中山山系の水沢「三身洞」  
入口を掘る和田喜八郎さん





水沢「三身洞」に入る番組スタッフ

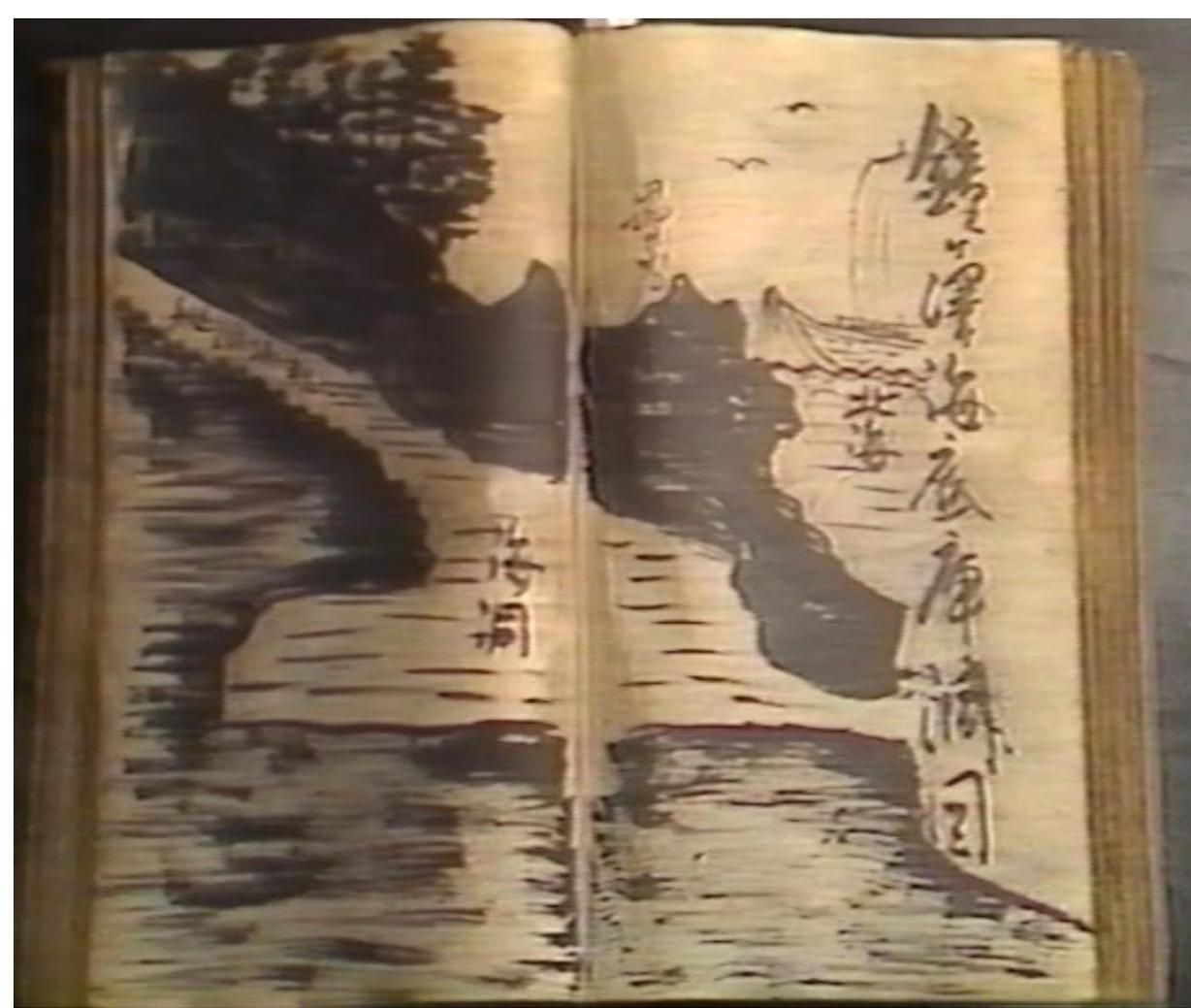
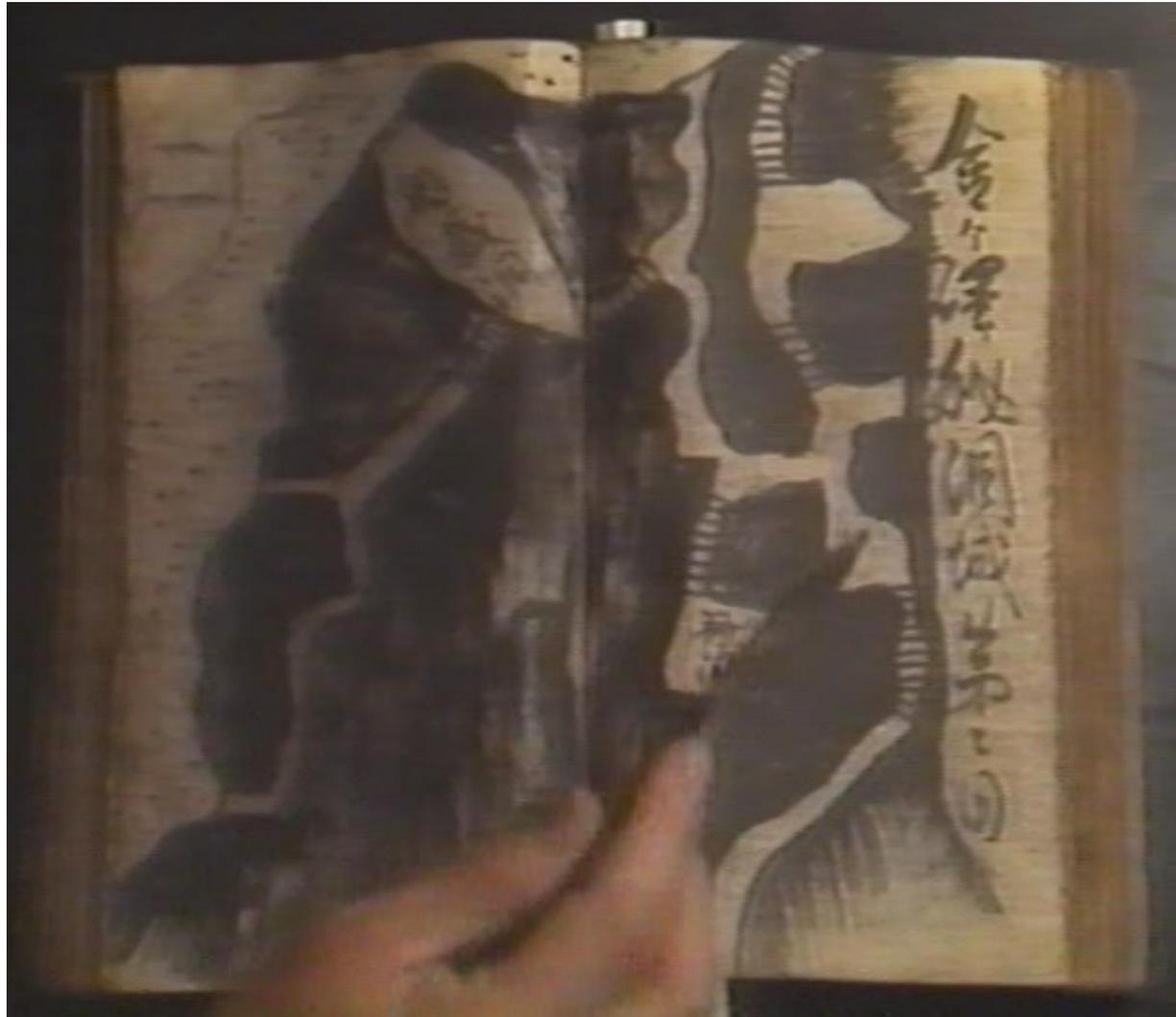


石塔山神社裏の石塔と鳥居

石塔山の石塔と鳥居



東日流外三郡誌 第十卷  
鐘ヶ澤秘洞城第二図



鐘ヶ澤海底庫洞図

東日流外三郡誌 第十卷



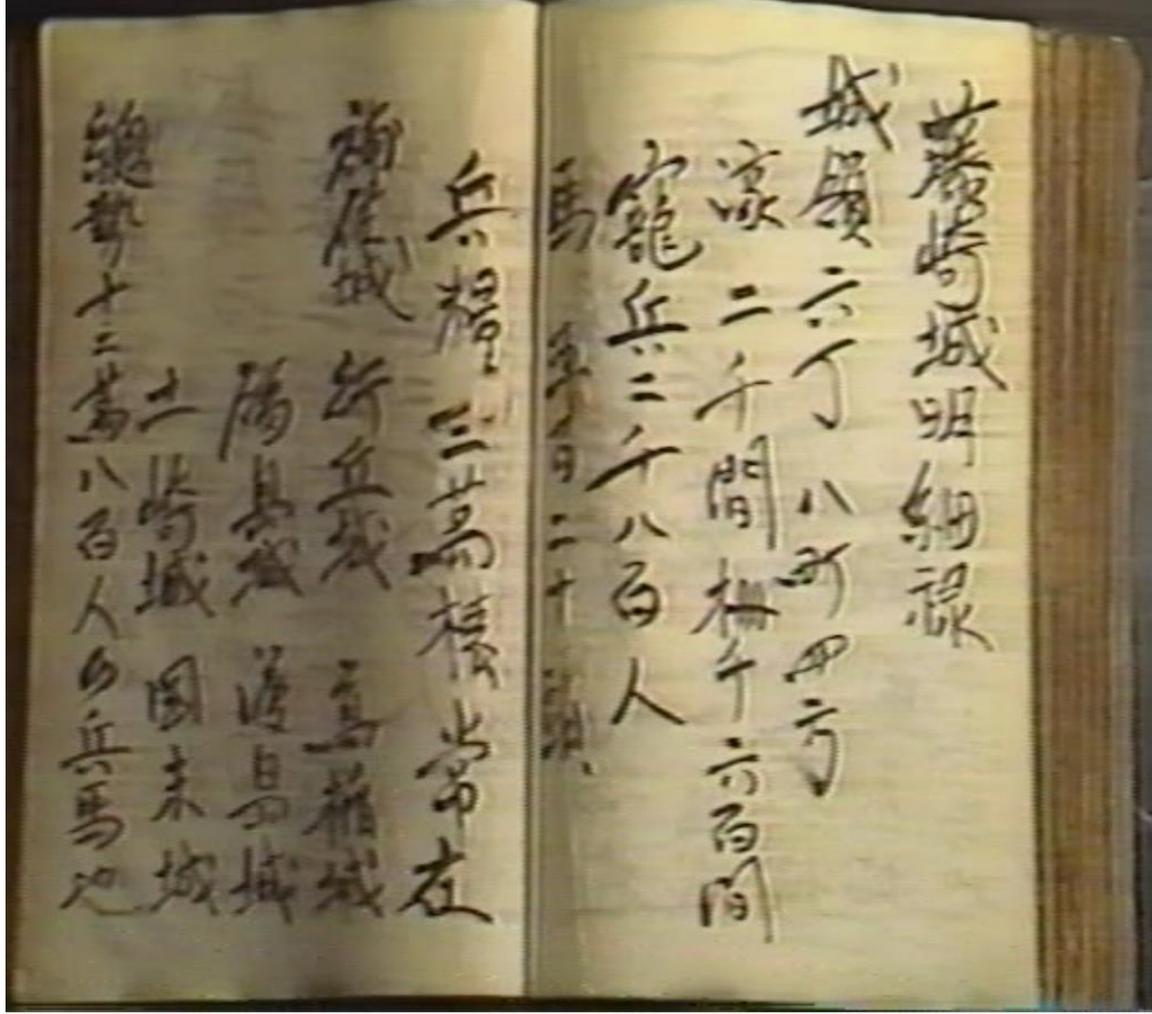
東日流外三郡誌 第十卷

藤崎城明細録



藤崎白鳥城全面図

東日流外三郡誌 第十卷



藤崎城明細録

城屋六丁八所四丁

涼二千間柵千六百間

籠兵二千八百人

兵糧三萬石常備在

備在城所兵戎 高箱城

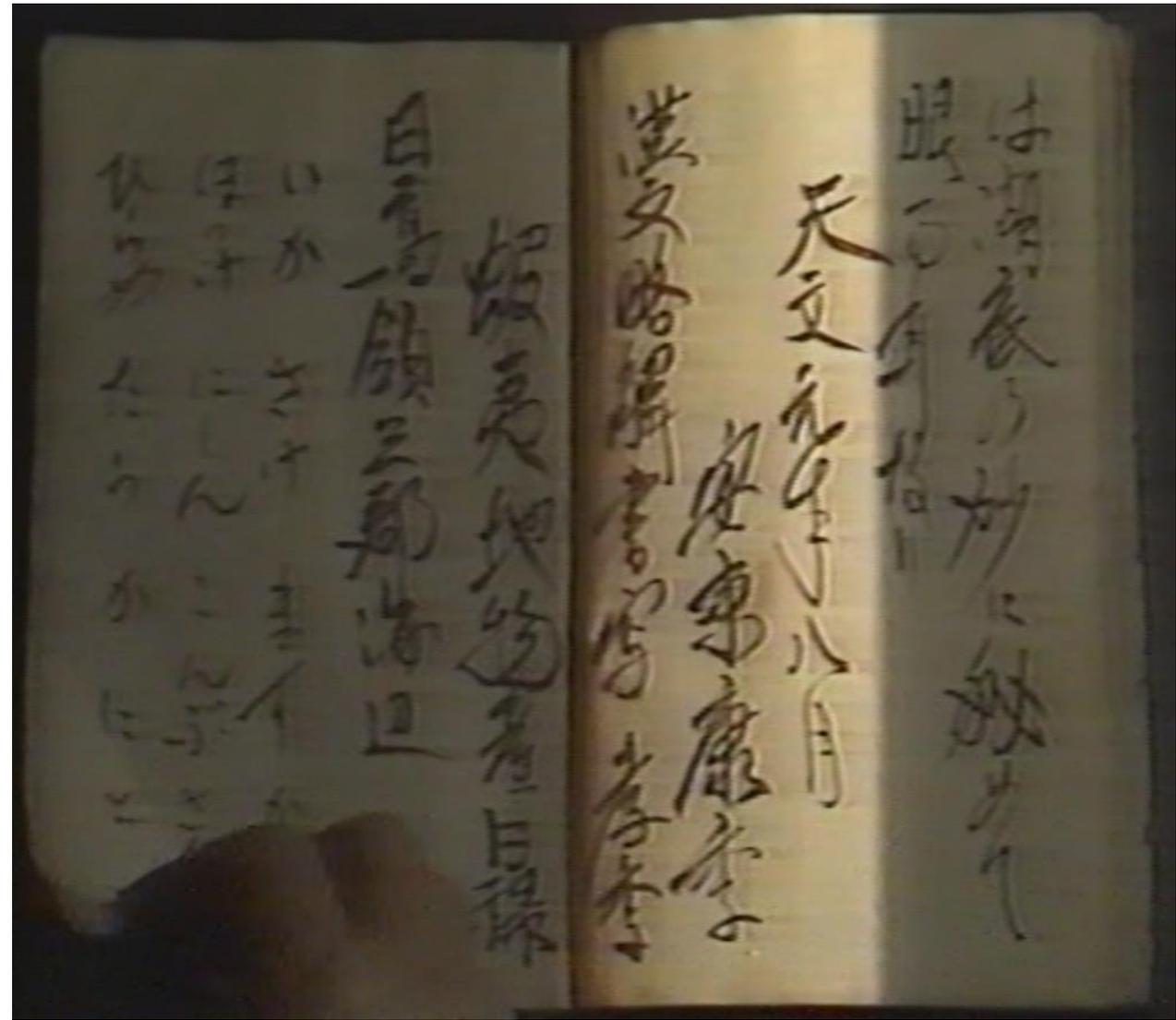
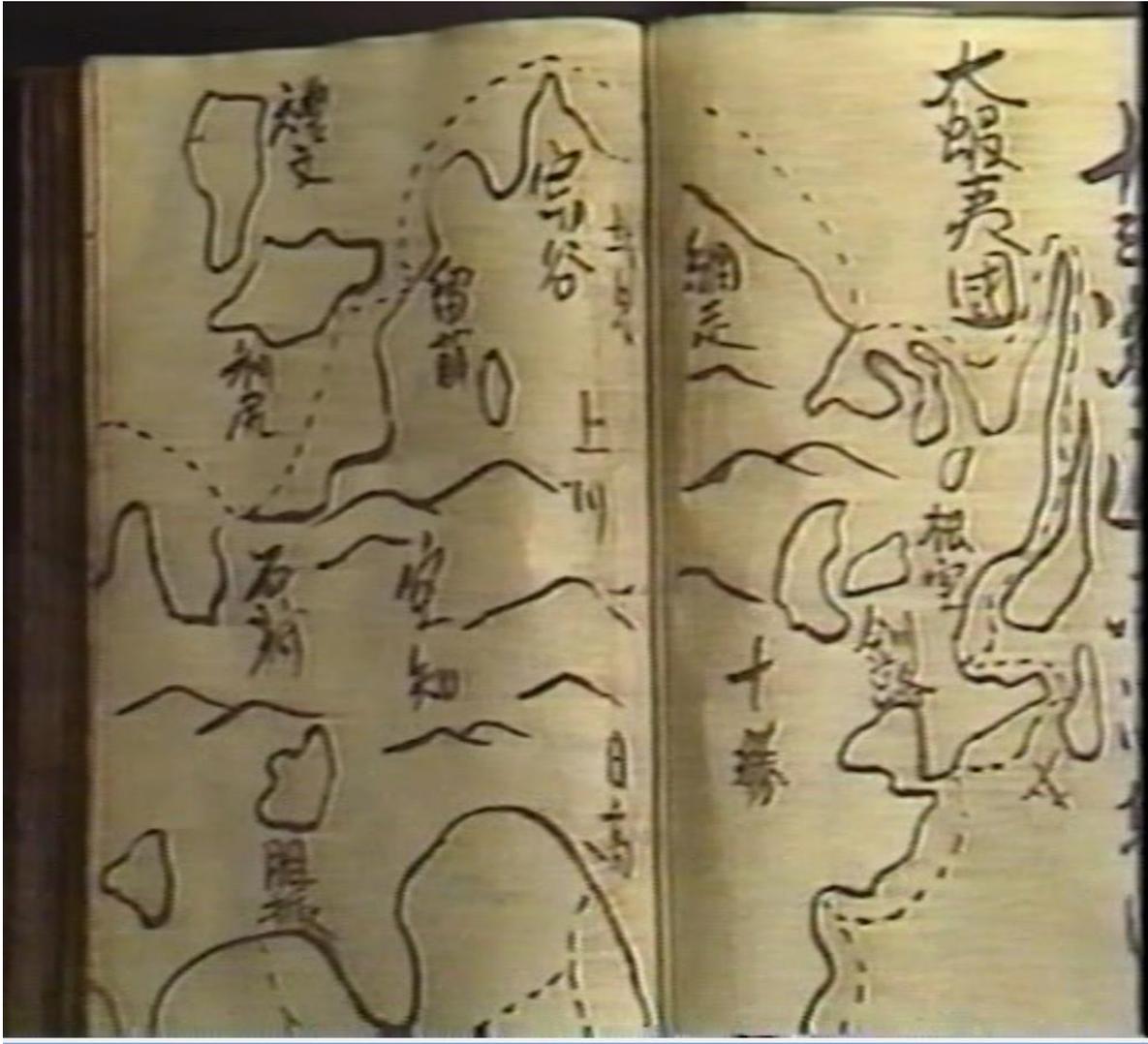
陽具城 邊島城

土崎城 園末城

總勢十二萬八千人兵馬也

東日流外三郡誌 第十卷

十三湊通商海域図



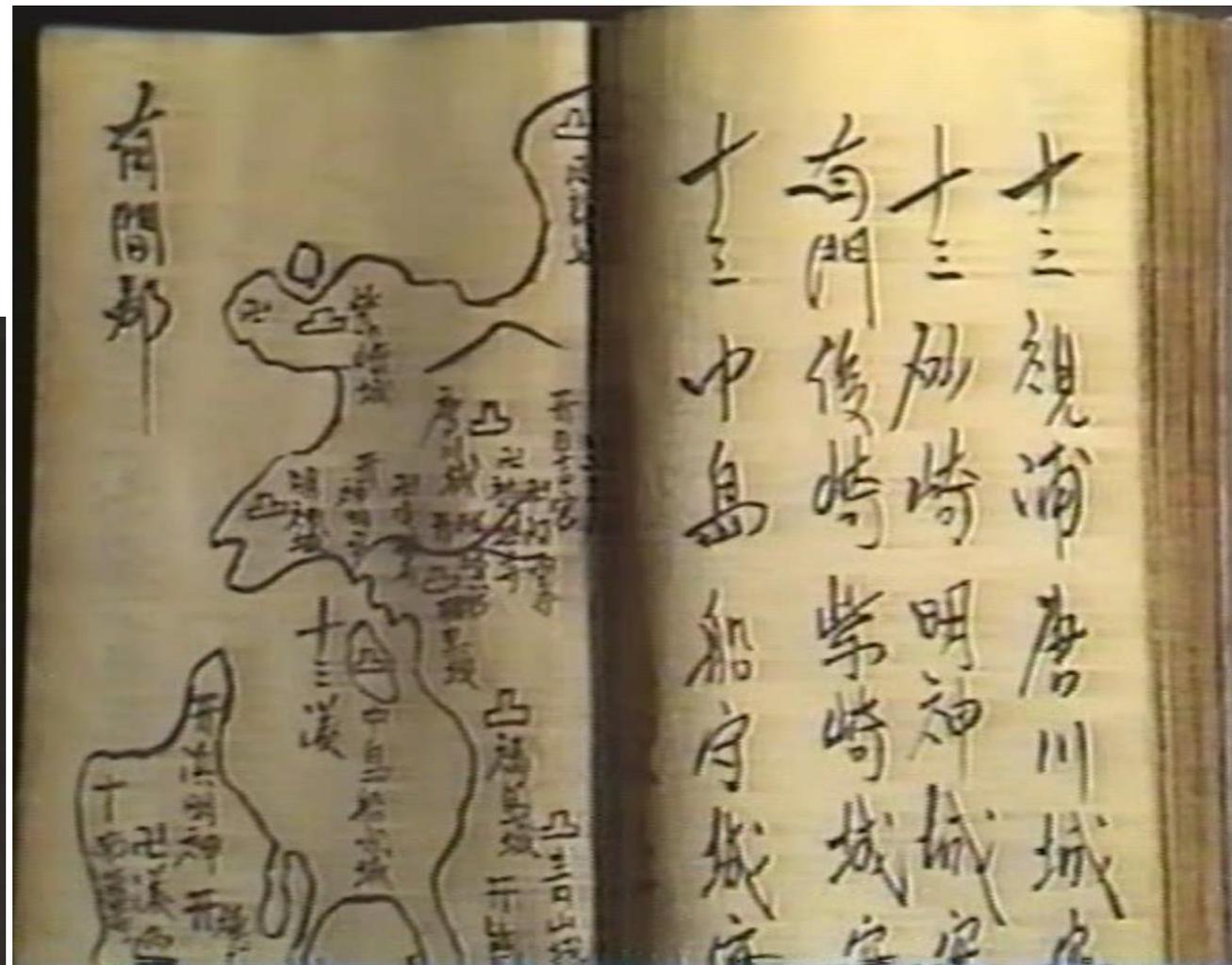
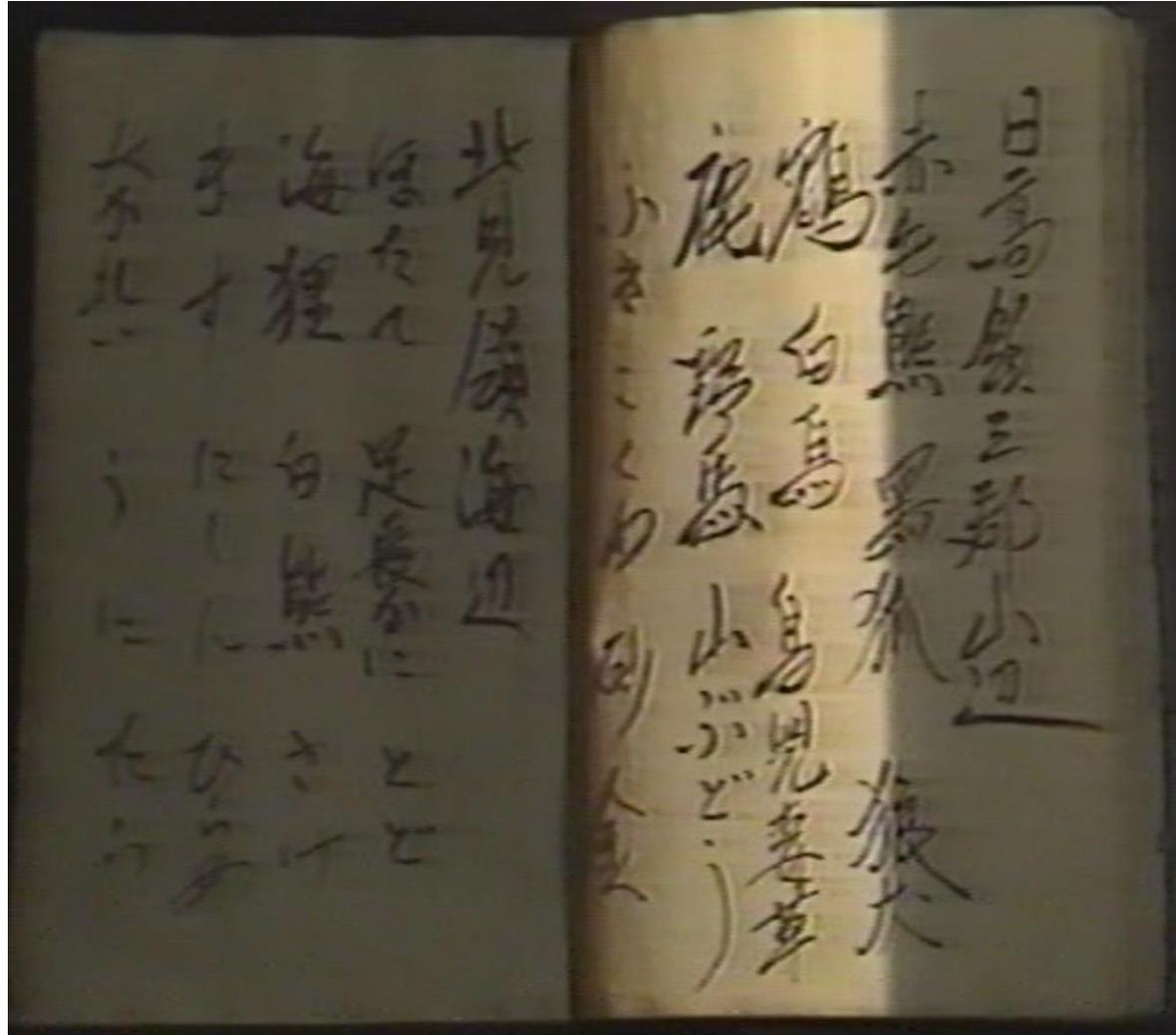
蝦夷地物産目録

東日流外三郡誌 第十卷



東日流外三郡誌 第十卷

蝦夷地物産目録



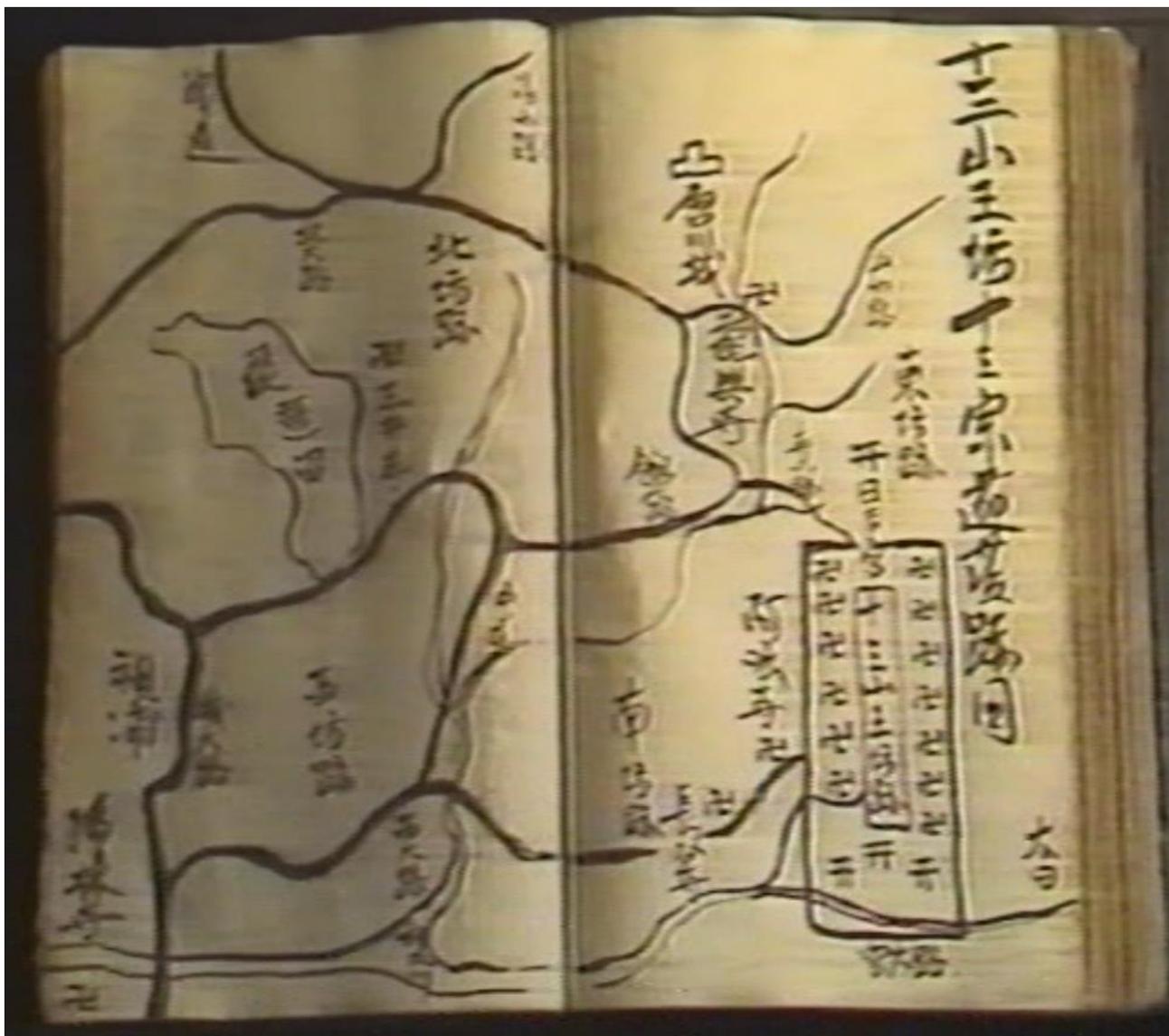
東日流有間郡之古城址

東日流外三郡誌 第十卷



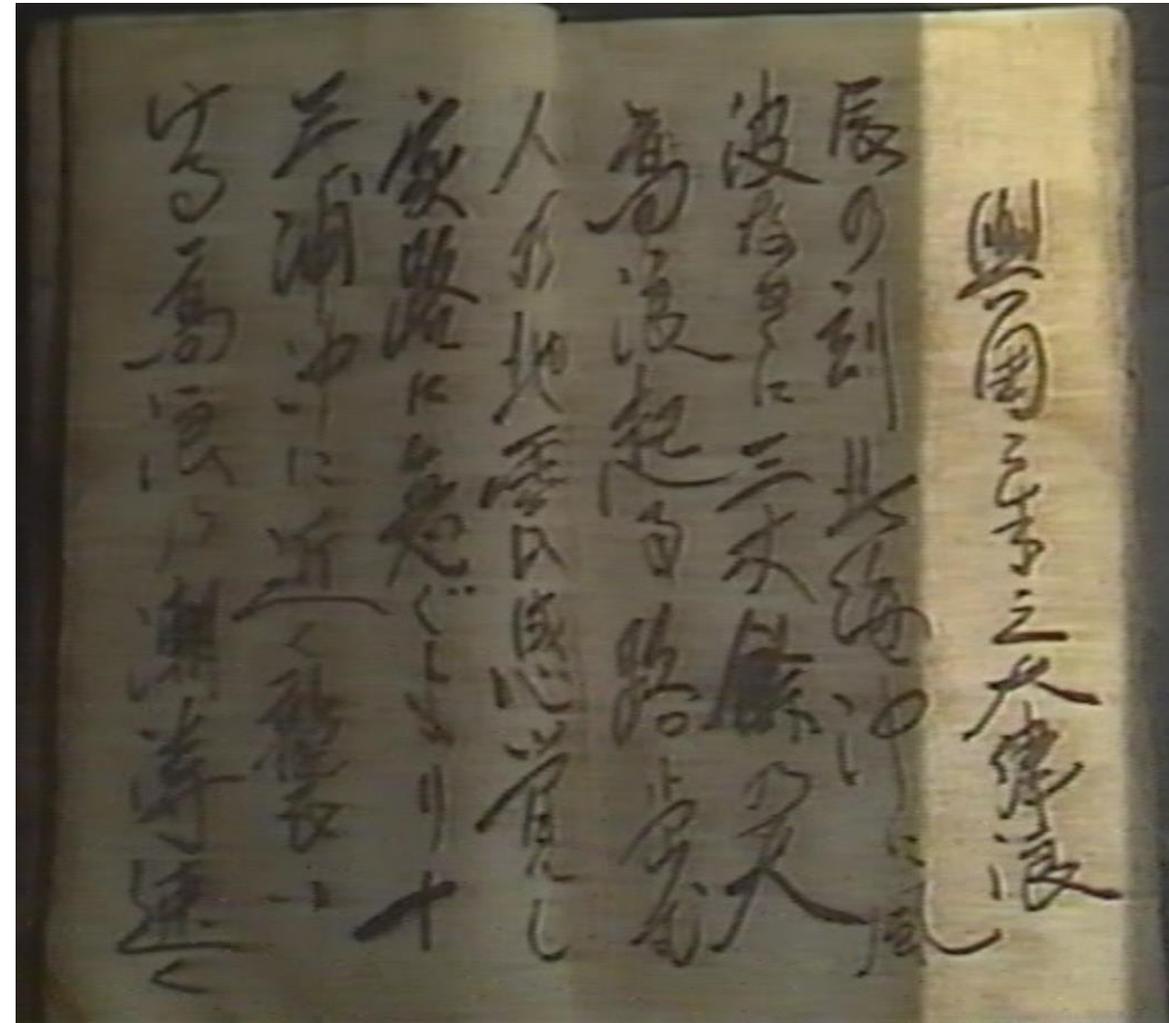
東日流外三郡誌 第十卷

興国二年之大津浪



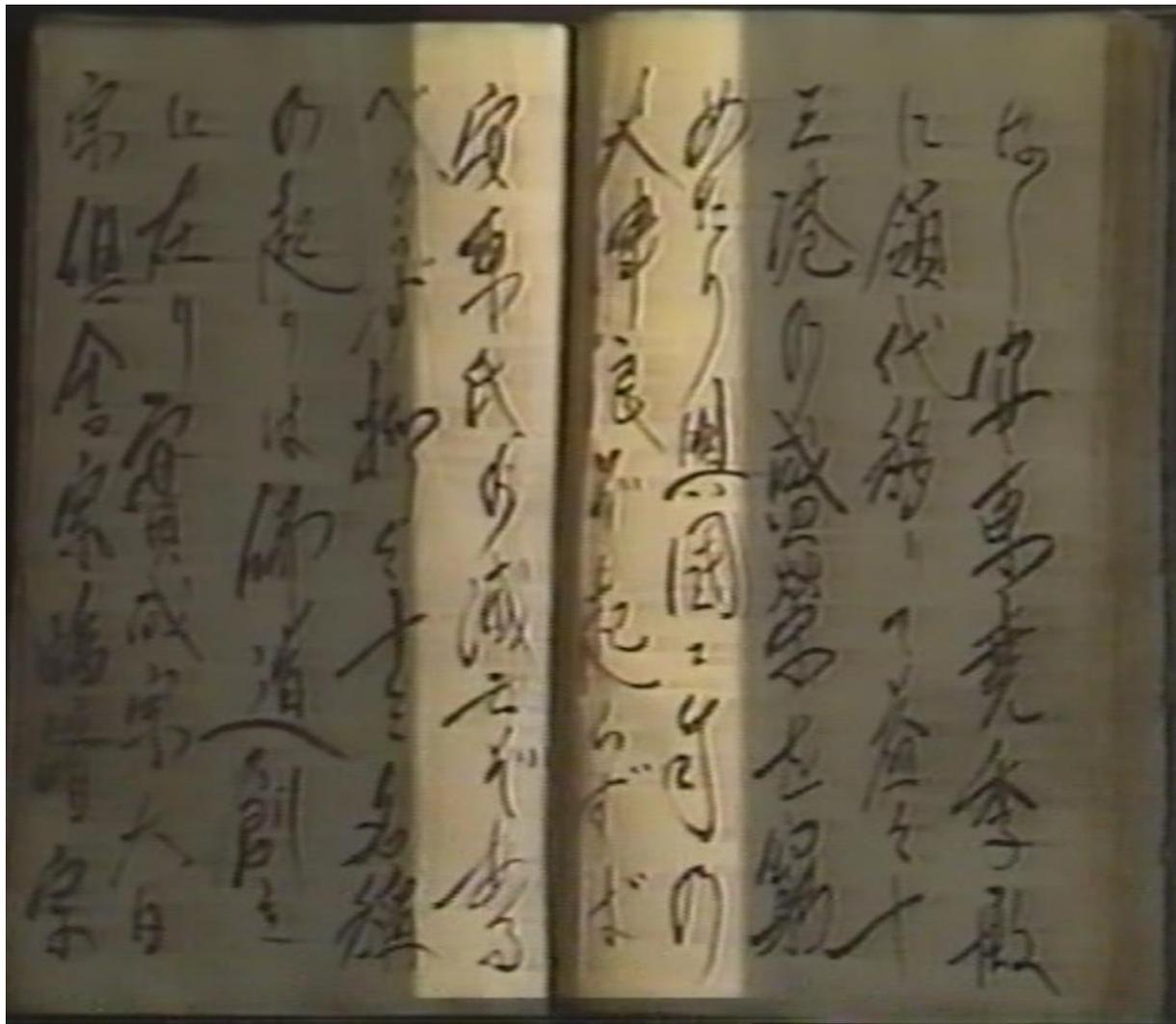
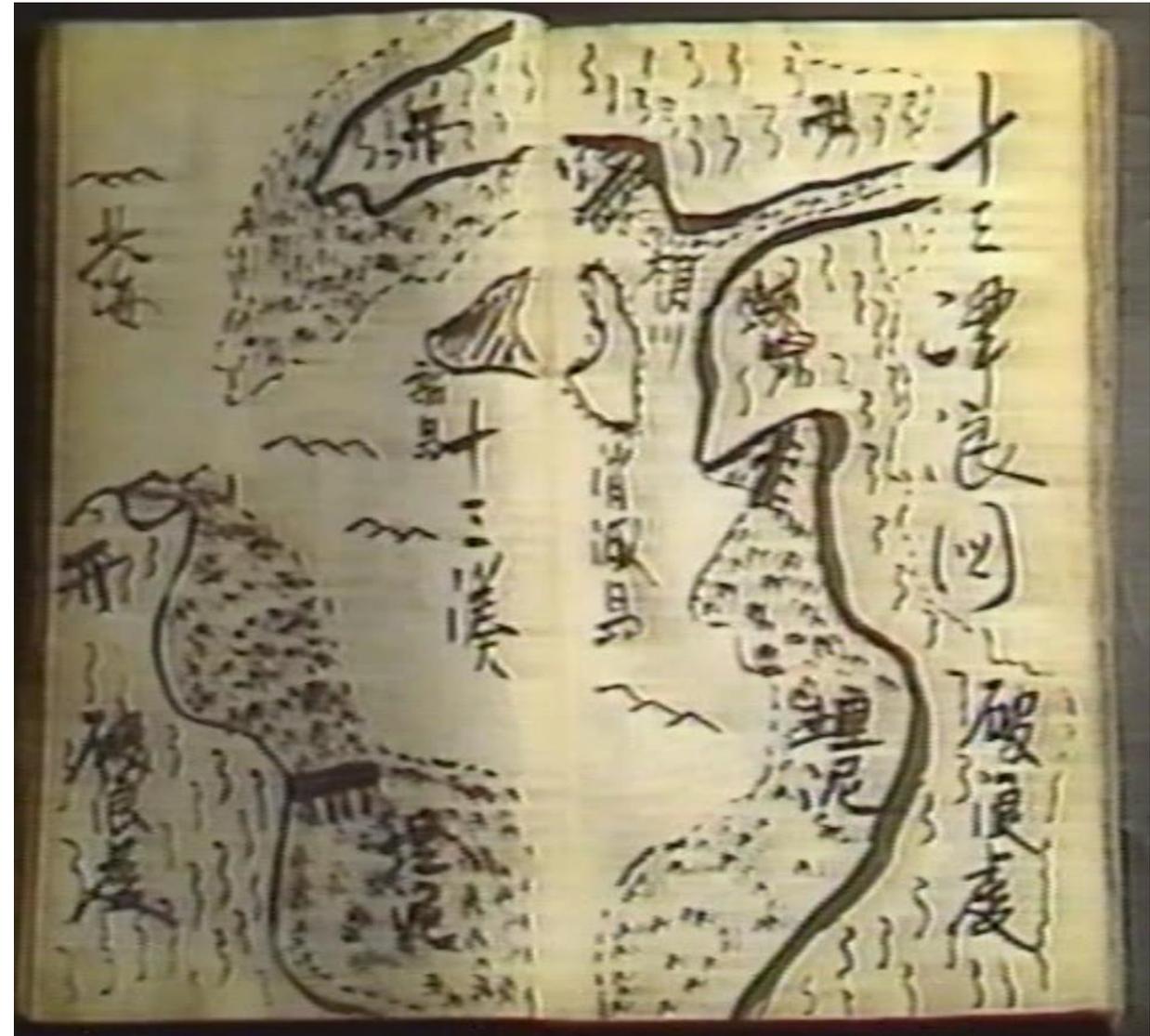
十三山王坊十三宗伽藍跡図

東日流外三郡誌 第十卷



東日流外三郡誌 第十卷

十三津浪図



興国二年之大津浪



和田さんが中山山系から発掘した品々

和田喜八郎さんが採集した石造物

石塔山で神事を行う和田喜八郎氏



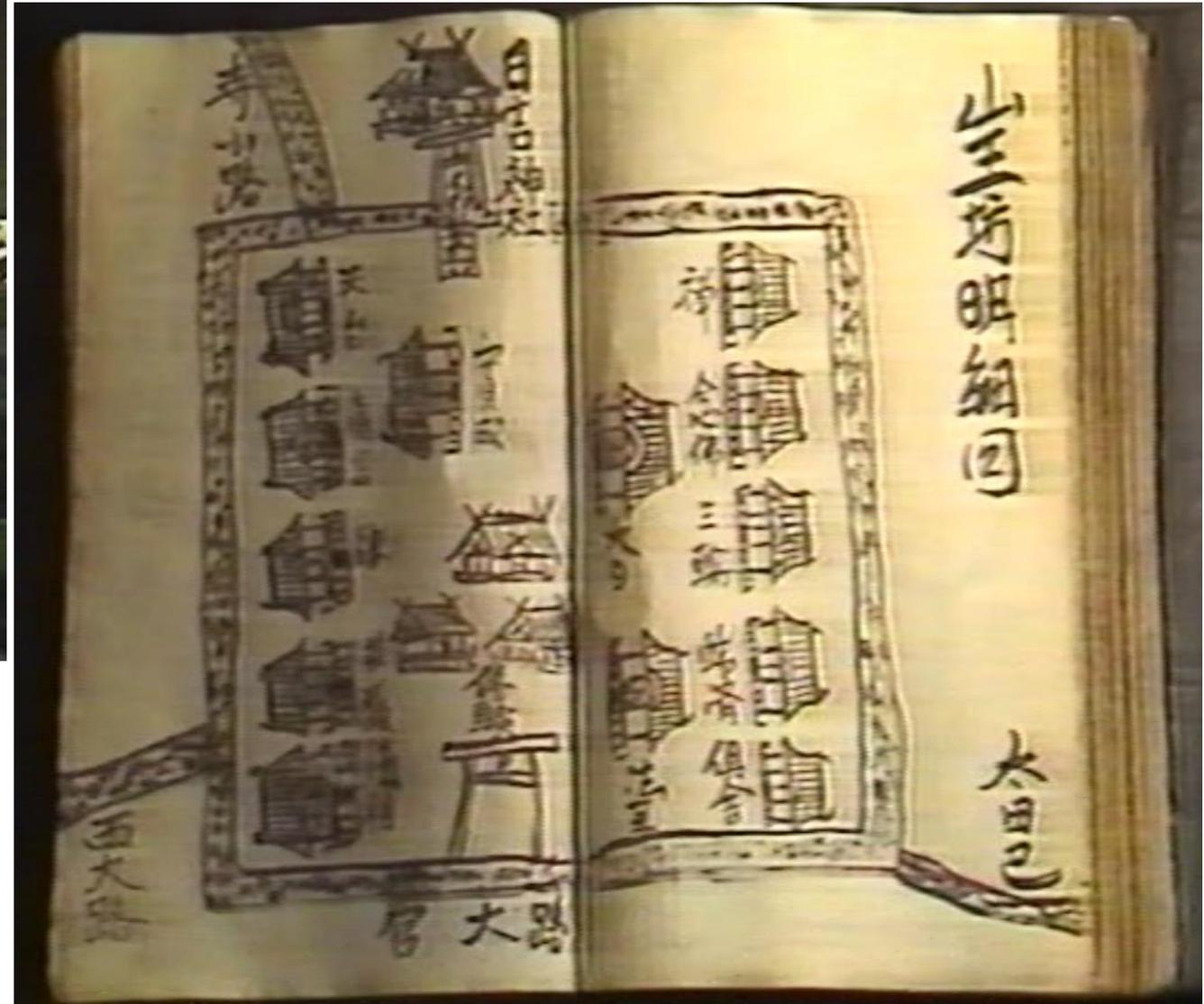
アヒビコ ナカスネ  
安日彦王・長随彦王・貞任  
の怨霊を祓う為に、和田家に

東日流外三郡誌 第十卷

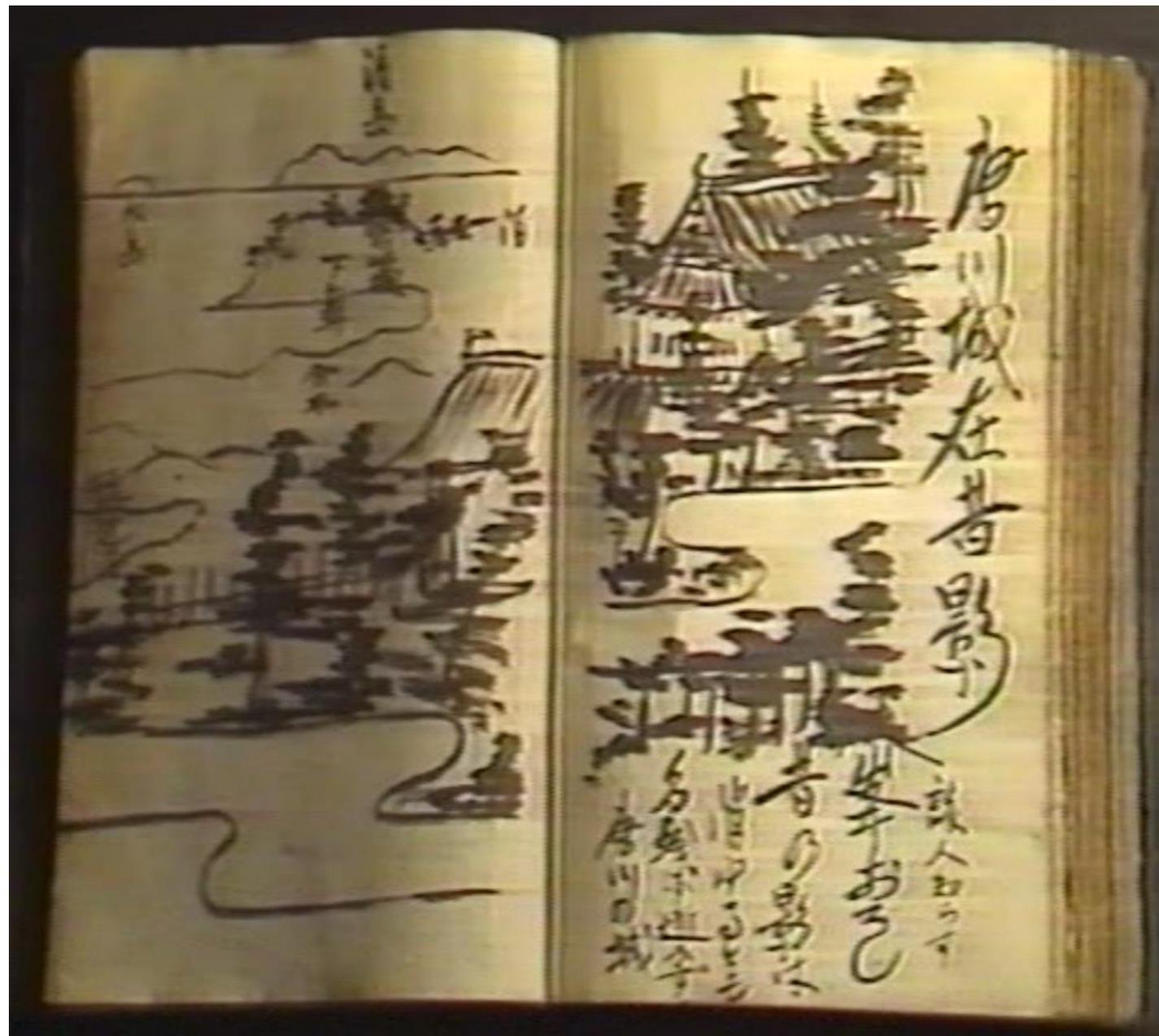
山王坊明細図



山王坊跡を歩く中尾彬さん



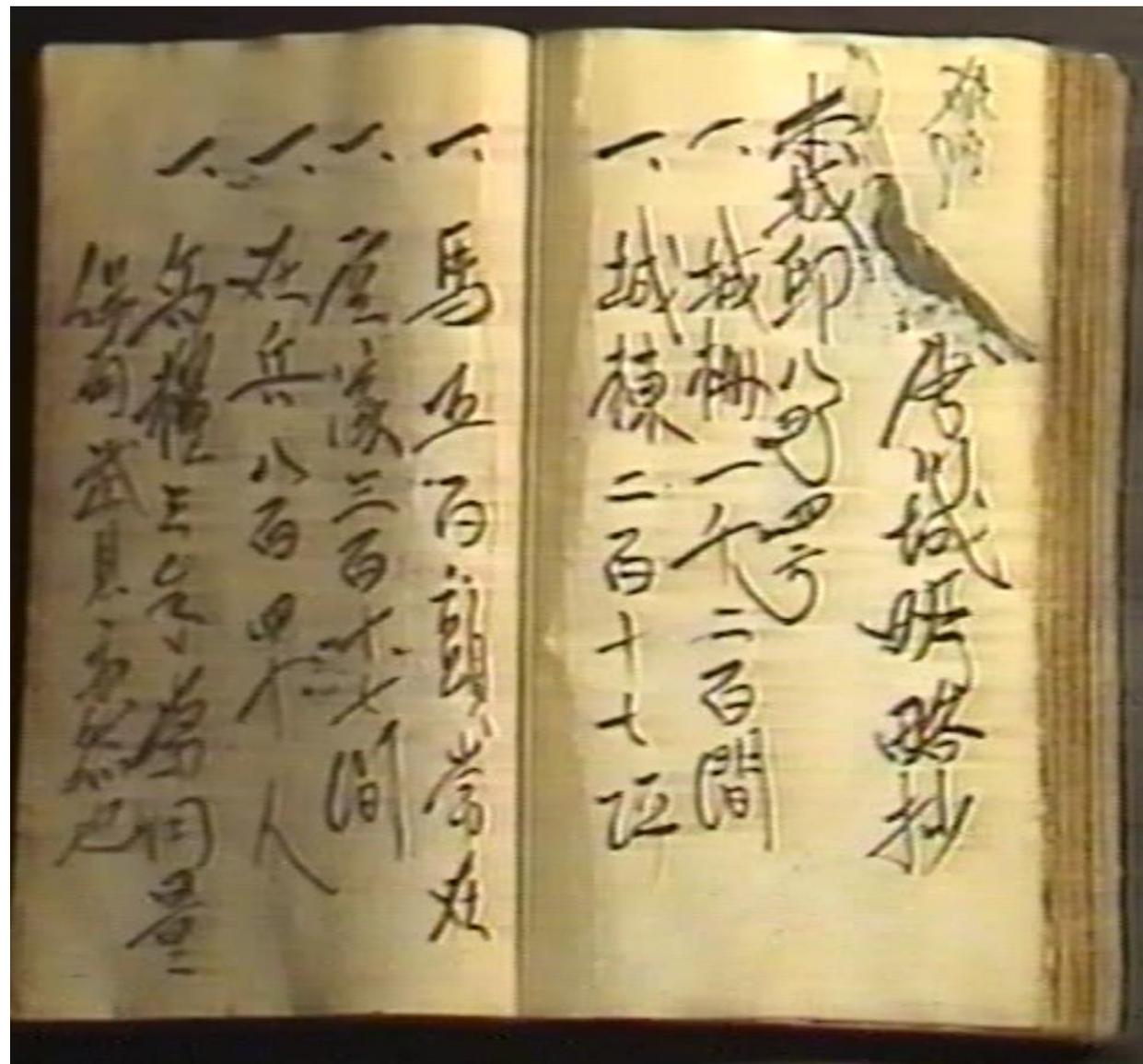
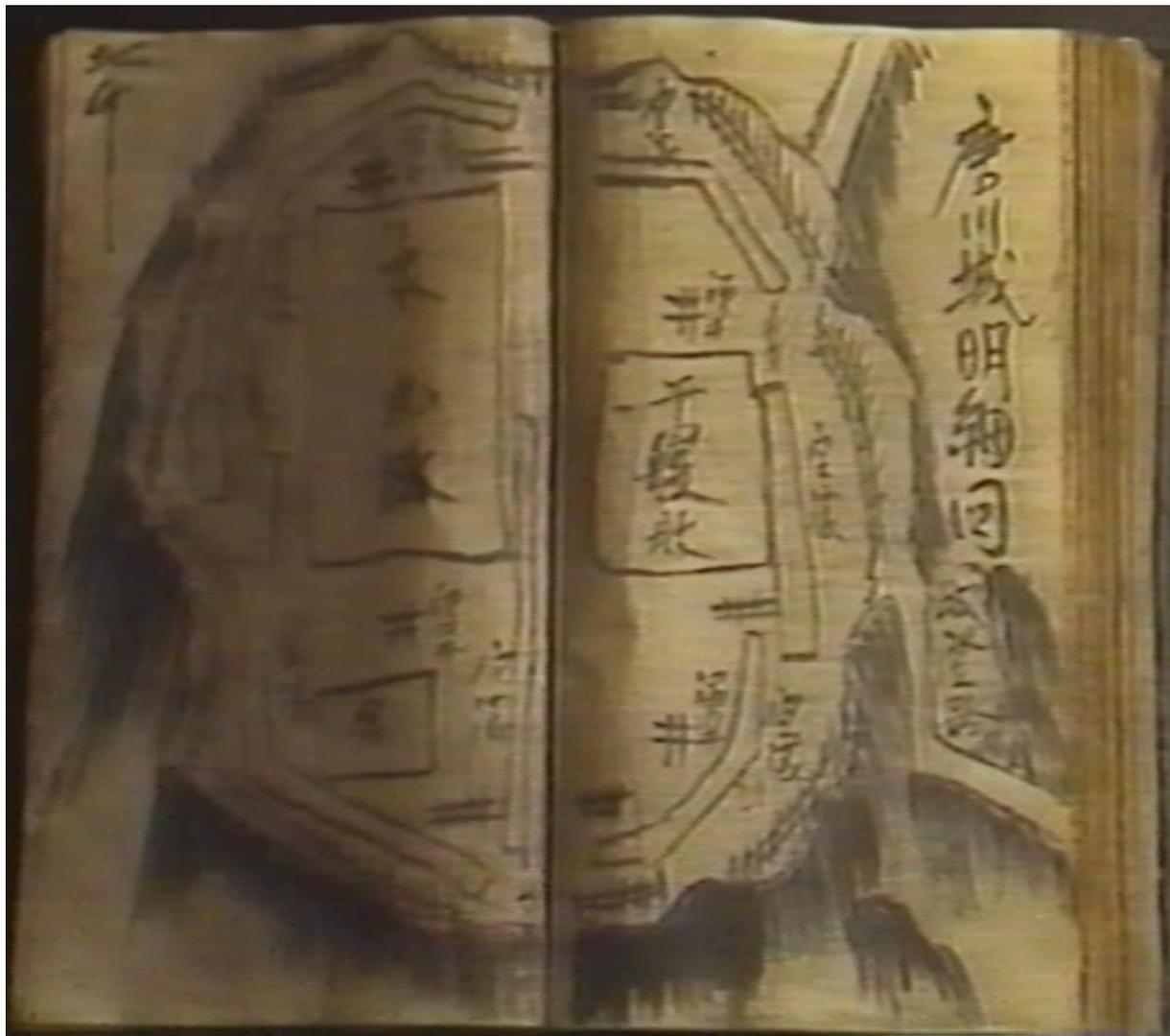
東日流外三郡誌 第十卷



唐川城在昔影



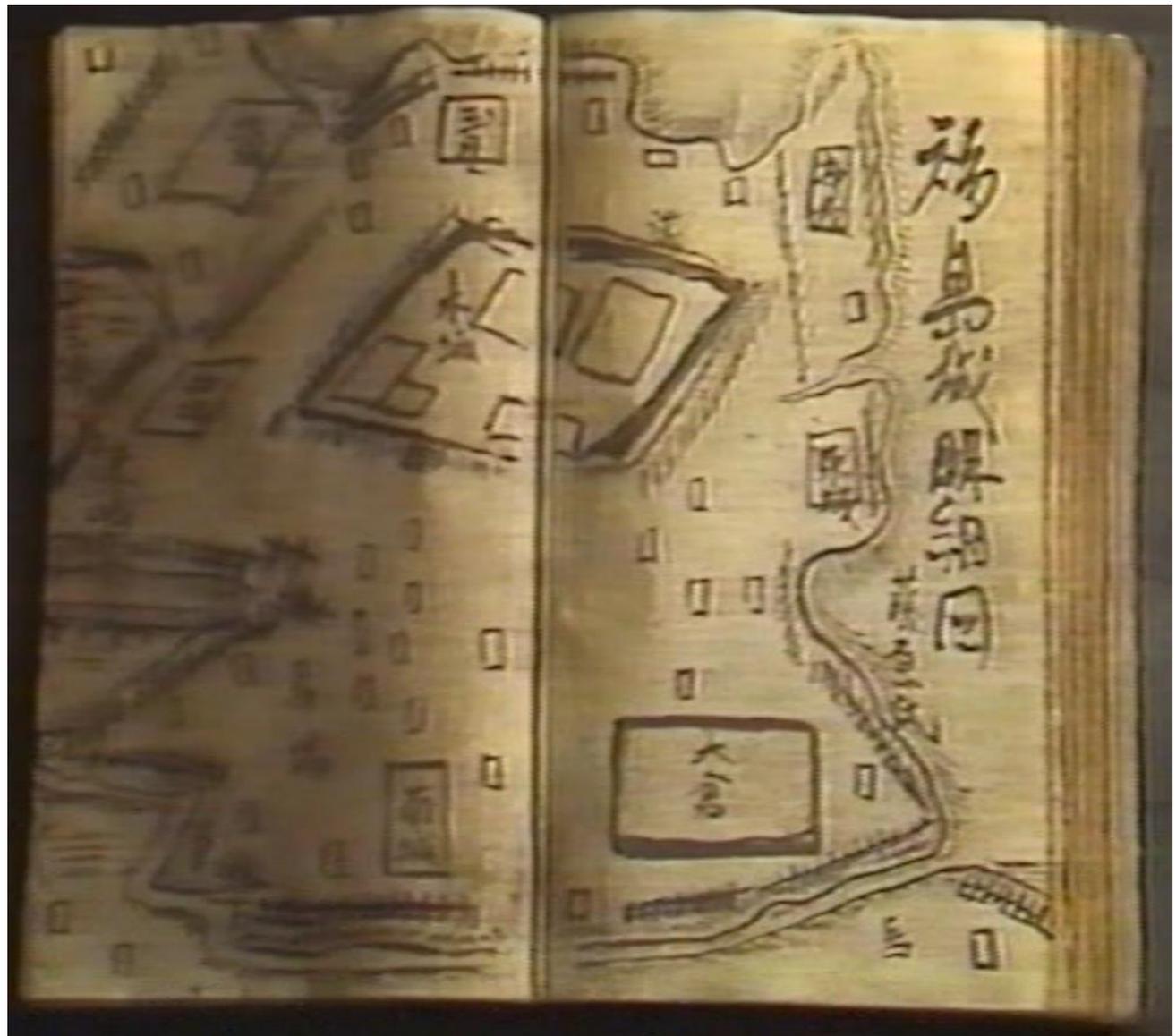
東日流外三郡誌 第十卷  
 唐川城明細図



唐川城明略抄  
 東日流外三郡誌 第十卷



十三湖から見た福島城跡

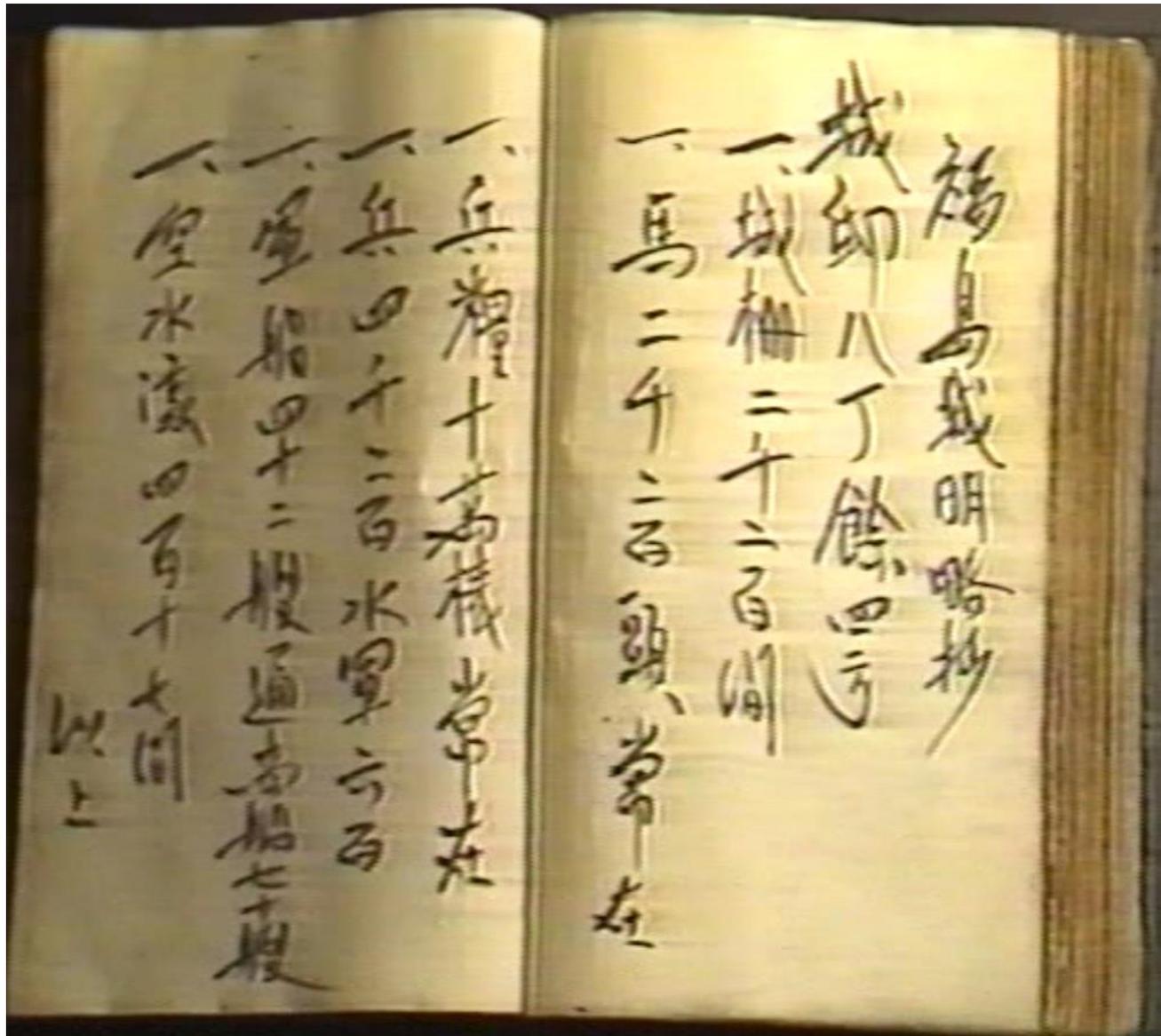


福島城明細図 藤原氏  
東日流外三郡誌 第十卷



東日流外三郡誌 第十卷

福島城明略抄



福島城跡

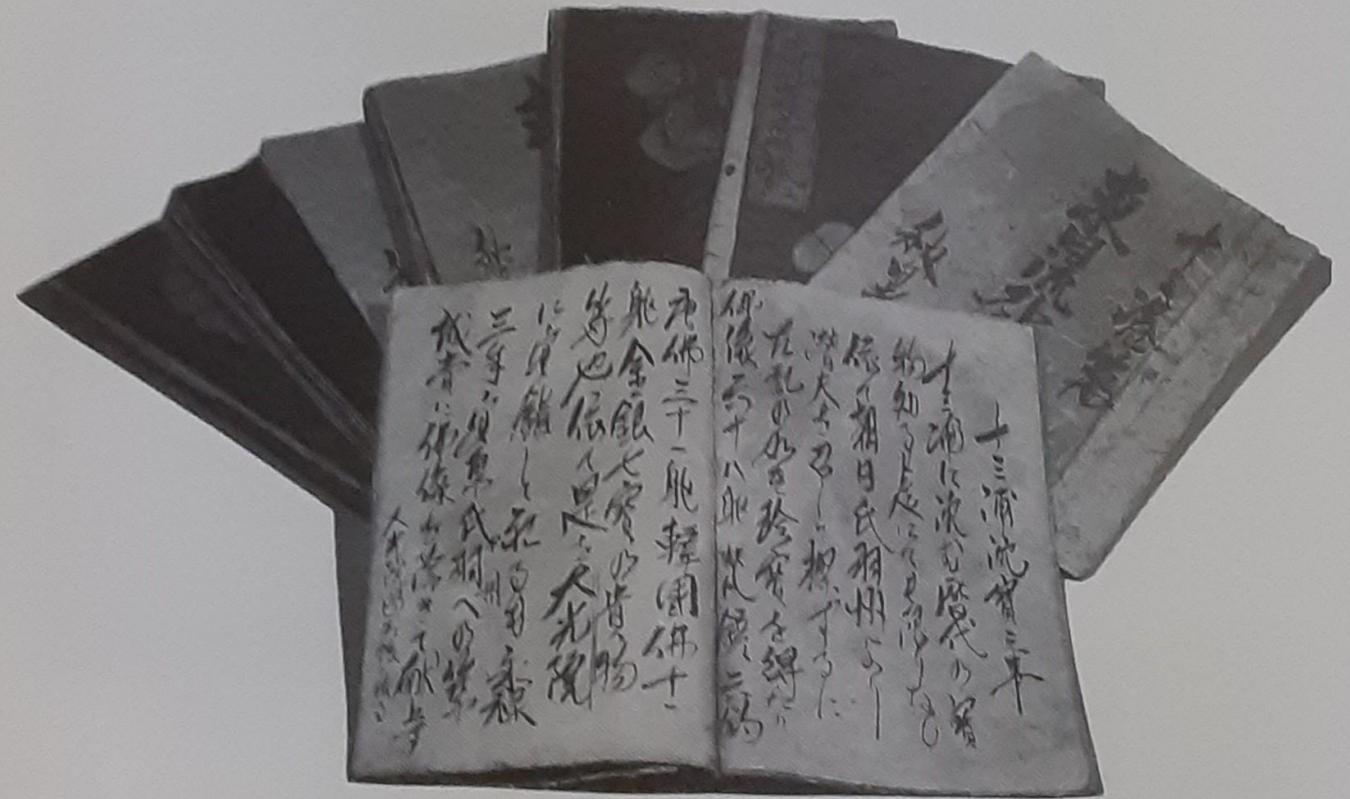
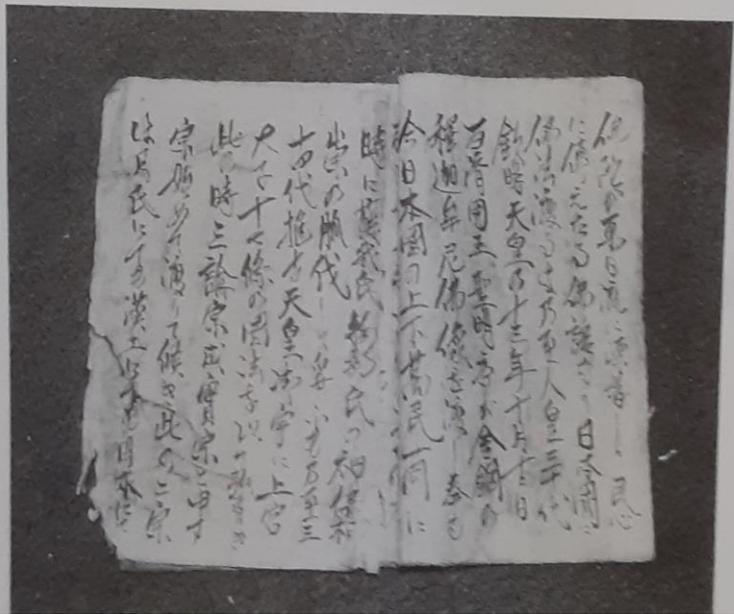
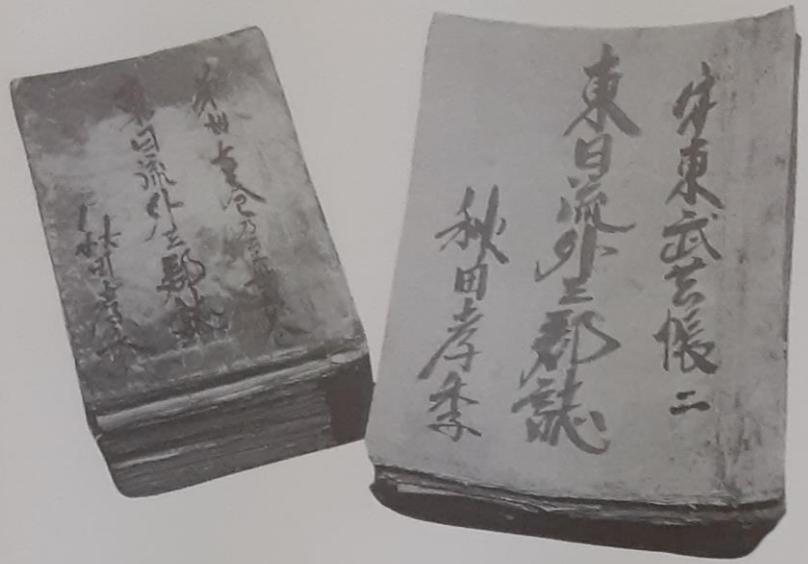




中尾彬さん(十三湖にて) 遠くに見えるのが岩木山



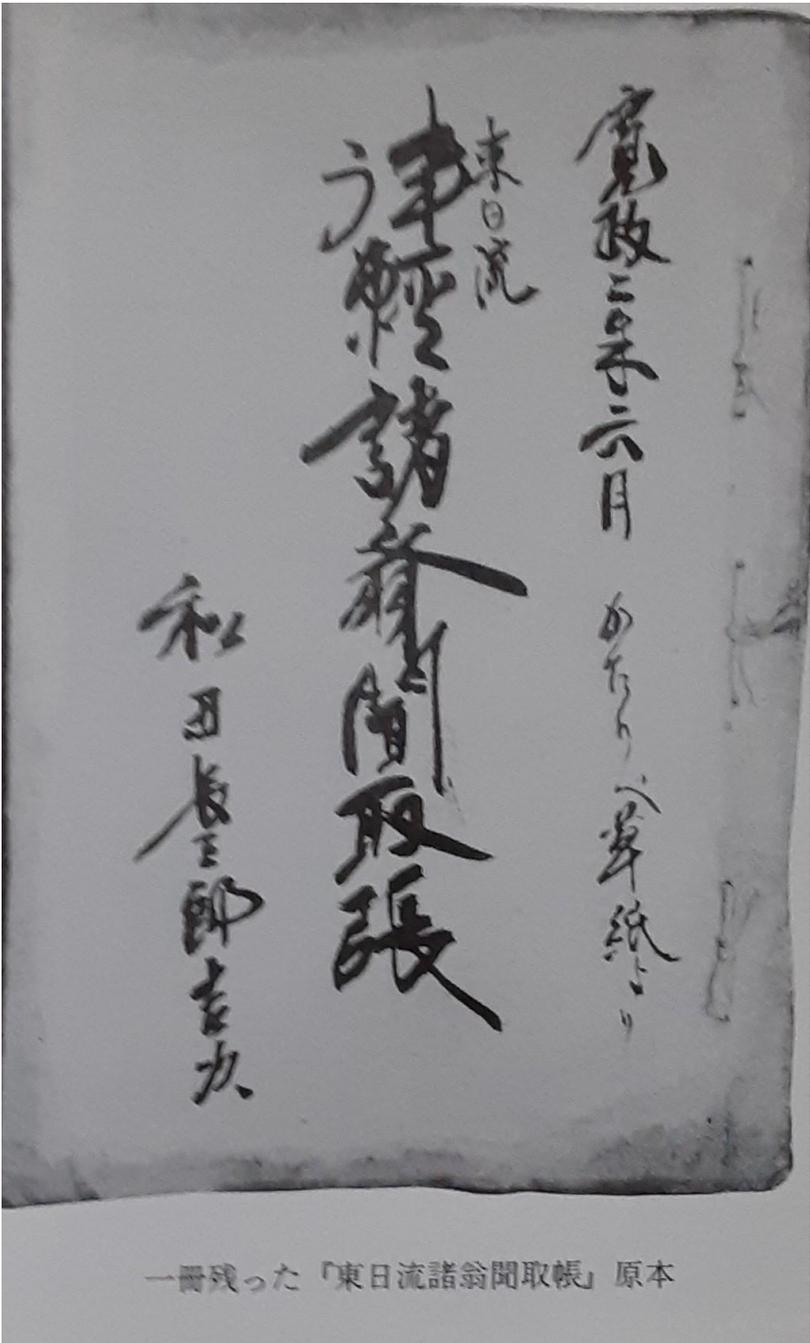
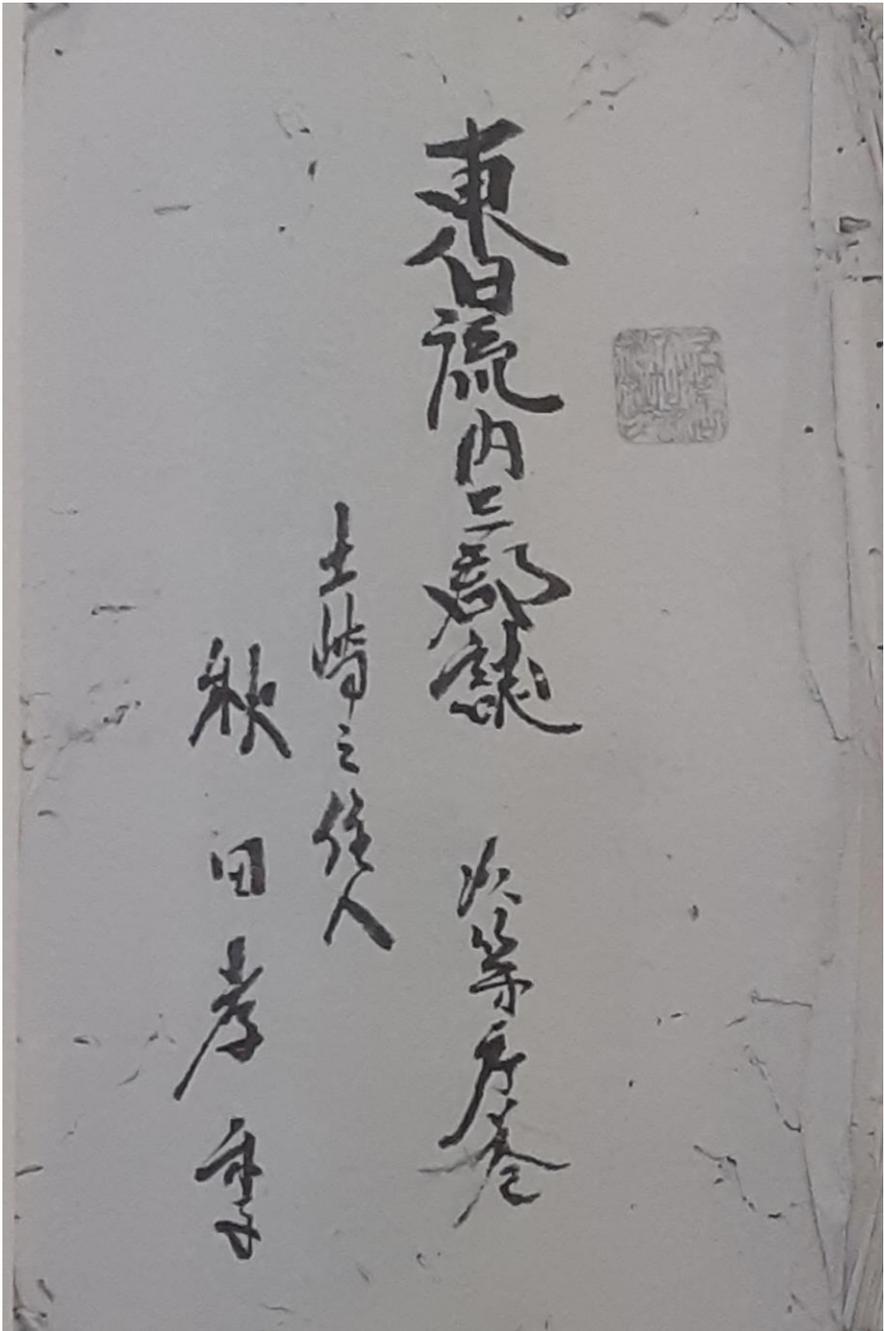
明治写本 東日流外三郡誌



明治写本

東日流内三郡誌

津輕諸翁聞取帳

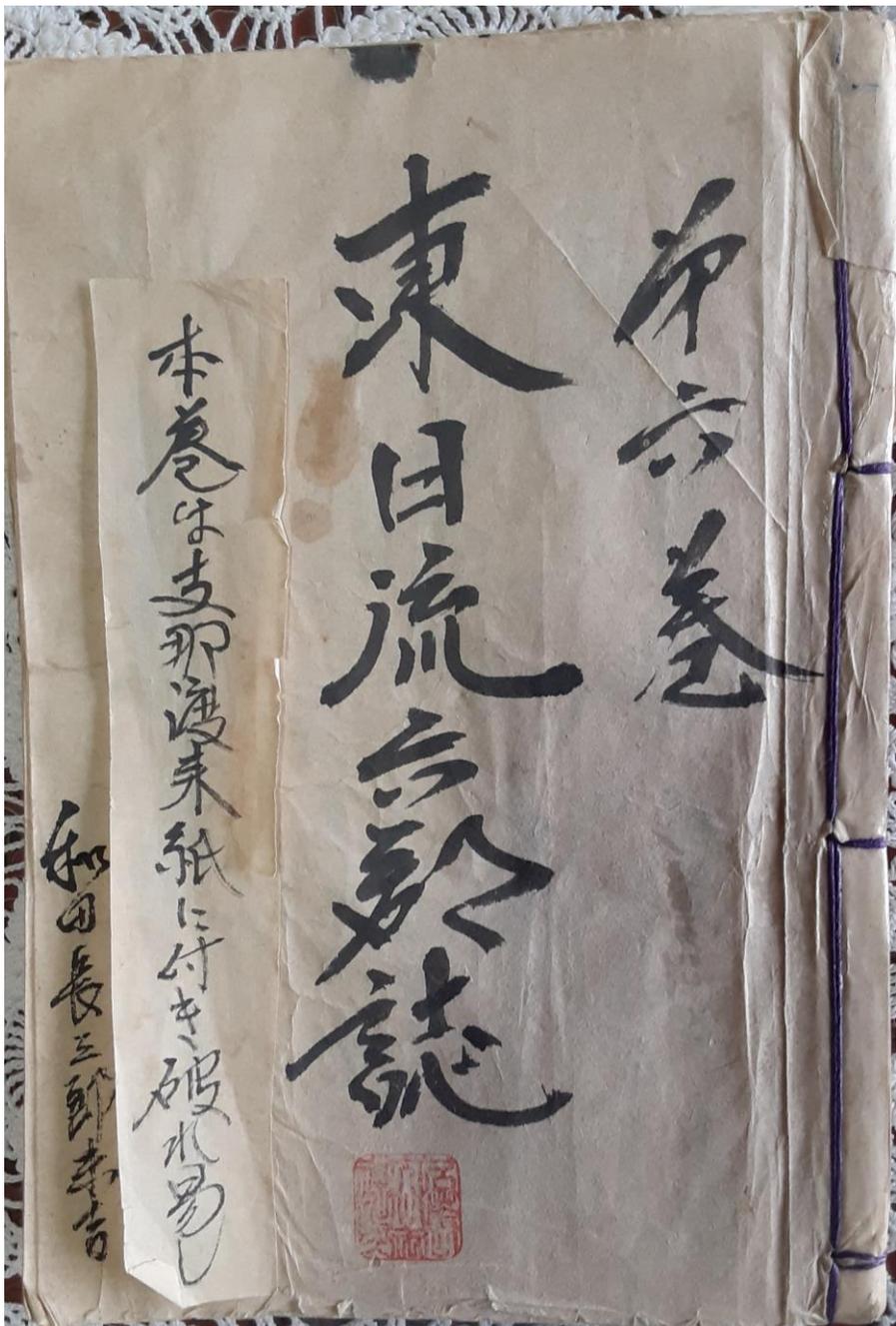


一冊残った「東日流諸翁聞取帳」原本



令和五年五月調査時に撮影

未刊行



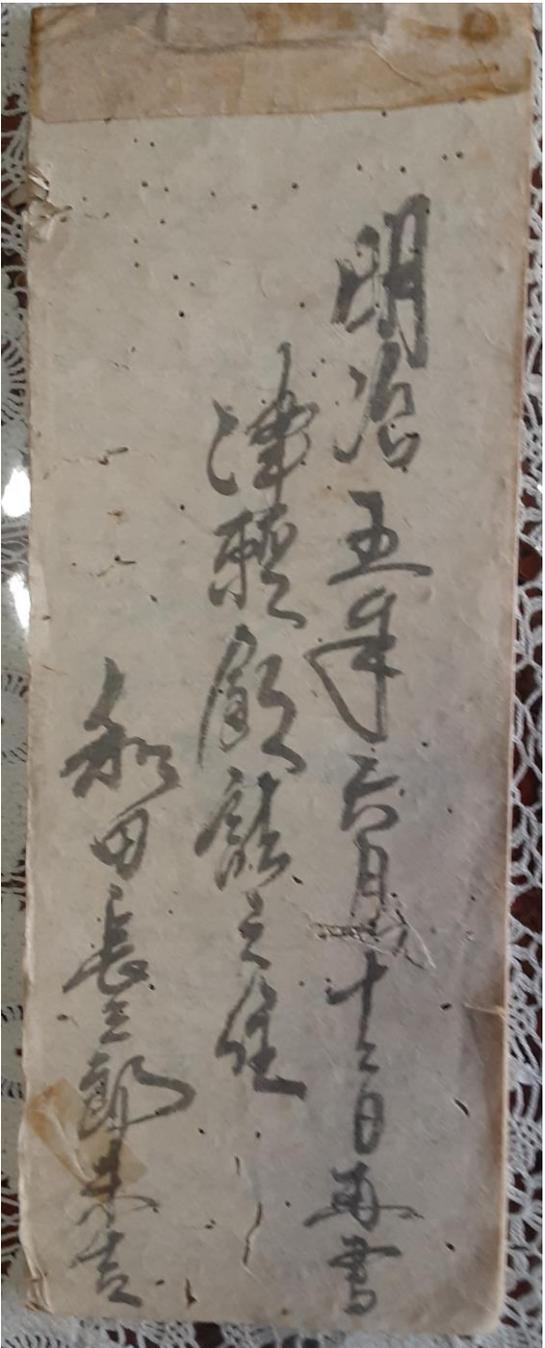
第六卷  
東日流外三郡誌



本巻は支那渡来紙に付き破れ易し

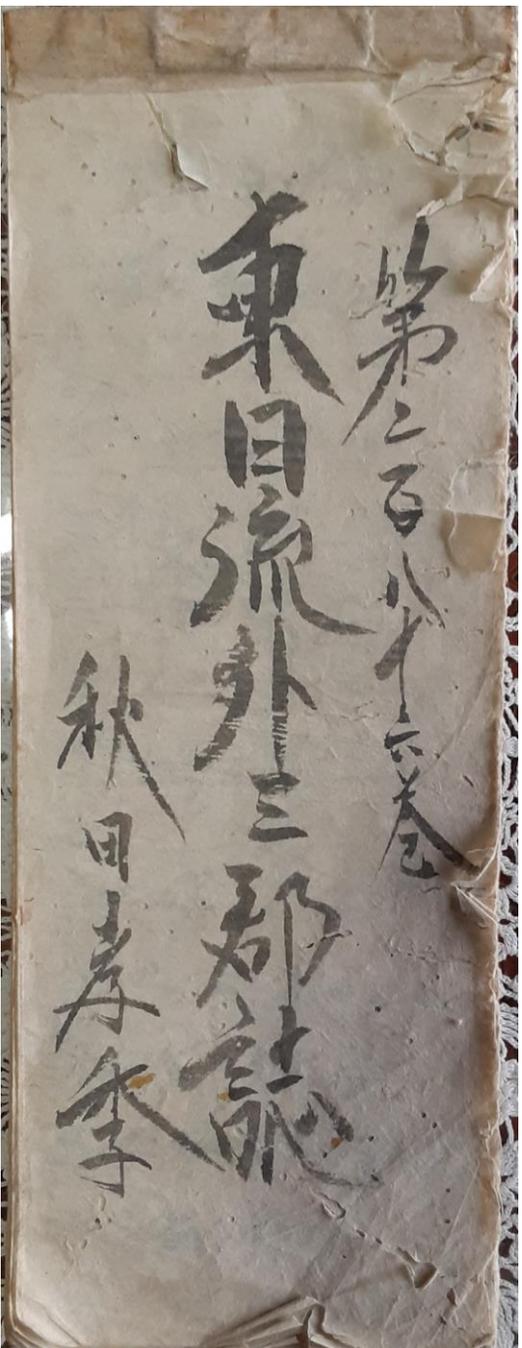
和日長三郎書

明治写本 八幡書店版『東日流外三郡誌』に収録



明治五年  
津輕飯館誌

和日長三郎書



第六卷  
東日流外三郡誌

秋日



平成の調査 和田長作による大正写本群



## 平成の調査 『北鑑』など大正写本



令和の調査 『北鑑』の精査  
使用された大福帳は明治三十年  
代後半から大正三年頃のもの。



(α群) 和田末吉書写を中心とする**明治写本群**。  
主に「東日流外三郡誌」が相当する。紙は明治  
の末頃に流行した機械梳き和紙が主流。

(β群) 主に末吉の長男、長作による**大正・昭和  
(戦前)写本群**。大福帳などの裏紙再利用が多い。

(γ群) 戦後作成の模写本(戦後レプリカ)。筆跡調  
査の結果、書写者は複数。紙は戦後のもの。  
厚めの紙が多く使用されており、古色処理が  
施されているものもある。展示会用として外  
部に流出したものによく見られる。



# 和田家文書の明治写本 と大正写本

東京古田会(和田家文書研究会)